

## 平成 29 年度 学校版環境 ISO への取組 概要報告

管内	市町村	学校名
阿蘇	高森町	高森東学園義務教育学校

## 1 取組の概要

## (1) 宣言

本校は、本年度より高森東小学校と高森東中学校が義務教育学校として新たに開校し高森東学園義務教育学校としてスタートした。これに伴い、学校版環境 ISO の取組も、これまでの旧高森東小学校、旧高森東中学校での取組を土台として、義務教育学校 9 カ年を 3 期（S ブロック（1～4 年）、M ブロック（5～7 年）、L ブロック（8，9 年））に分け、それぞれの発達段階や各ブロックの特徴を生かした新しい形での取組を始めた。

本年度の学校版環境 ISO の取組は、児童生徒会の環境委員会による活動スローガンをうけ、環境問題についてしっかりと深く考えた上で、学校全体で環境問題について取り組むこととした。児童生徒および職員の宣言項目は以下の通りである。

## 東学園全体

節水：コップ一杯の水で歯磨きをします。  
石けんで手を洗うときは水を止めます。  
節電：教室を出るときは、電子黒板と電灯を消します。  
帰るときは、電子黒板のコードを抜きます。

## S ブロック

4 つの「せ」大作戦  
 (1) 節水：水を大切にします。(水の使い方を工夫します。)  
 (2) 節約：ものを大切につかいます。  
 (3) 節電：電気を大切にします。  
 (4) 整理整頓：きれいな学校づくりを心がけます。

## M/L ブロック

(1) 土着有用微生物を活用し、「命のサイクル」を意識した環境浄化活動を行います。  
 (2) 節電に努めます。  
 (3) 節水に努めます。  
 (4) 環境について学びます。(総合的な学習の時間)  
 (5) 環境学習の実践及びその成果を家族や地域の人に発信します。

## 学校版環境 ISO 宣言（職員用）

(1) 節水に努めます。  
 (2) 物を大切につかいます！  
 (3) 電気を大切にします！  
 (4) きれいな学校づくりを心がけます！  
 (5) 土着有用微生物を活用した環境浄化活動を生徒とともにいきます。

(2) 行動 (主なものを抜粋)

常時	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 節水、節電 (東学園全体の行動宣言)</li> <li>* 4つの「せ」に関する呼びかけ (Sブロック)</li> <li>* 土着有用微生物を活用した環境浄化活動</li> </ul>
5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境委員会活動において花壇作り (写真①)</li> <li>・ 環境浄化活動【エコ菌採取】〔1回目〕 (写真②)</li> <li>・ 児童生徒総会において、「学校版環境 ISO」の活動における提案および周知</li> <li>・ 「学校版環境 ISO」の意識調査〔1回目〕</li> <li>・ みどりの少年団結団式および活動〔前期課程〕</li> <li>・ 環境浄化活動【エコぼかし作り】 (写真③)</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境浄化活動【エコ菌採取】〔2回目〕</li> <li>・ 環境浄化活動【エコ発行液を活用した清掃活動】</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境浄化活動【エコぼかし作り：乾燥】 (写真④)</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校版環境 ISO」の意識調査〔2回目〕</li> <li>・ 各ブロックにおいて花壇作り</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境浄化活動【委員会活動において、エコぼかし詰め】 (写真⑤)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑の少年団による球根植え〔前期課程1～6年〕 (写真⑥)</li> </ul>



写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥

○水道量、電気消費量削減

平成24年度から ICT 機器の整備が進み、職員による活用はもちろんのこと、児童生徒が主体的に ICT 機器を活用できる環境が整ってきた。そこで、電気の使用量を削減するために、「教室を出るときは、電子黒板と電灯を消す」、「帰るときは、電子黒板のコードを抜く」等の活動を行っている。また水道量に関しても、「コップ一杯の水で歯磨きをする。」「石けんで手を洗うときは水を止める。」等の活動を積極的に行っている。

○緑の少年団

自然に親しみ、心豊かな人間になっていくことを目指して、6年生がリーダーとなり緑の少年団の活動の一環として、花植えを2回実施しました。



○土着有用微生物を活用した環境浄化活動

旧高森東中学校の伝統である土着有用微生物（ひめゆり ECO 菌と命名）を活用した環境浄化活動として、給食調理場が出された野菜や魚などの皮や切れ端などを ECO ぼかしと混ぜ、発酵させ、堆肥料にする活動を行っている。本年度は4年ぶりに ECO ぼかし作りを実施した。



残さいに ECO ぼかしを混ぜる



よく混ぜたぼかしと残さいをコンポストの中に入れる



土を上からかけ、堆肥料処理をする

(3) 記録

○水道量、電気消費量削減

本年度4月から10月までの水道量、電気消費量の昨年度比

	1棟（旧東中学校）	2棟（旧東小学校）	東学園全体
水道料金	6.49%増	5.94%増	12.43%増
電気料金	7.46%増	7.58%増	15.04%増

○土着有用微生物を活用した環境浄化活動

環境委員会による校内美化作業において、ECO 発酵液を排水溝に散布し、環境保全に努めた。



(4) 見直し

○水道量、電気消費量削減

昨年度比、水道料金12.43%増、電気料金は前年度比15.04%増である。電気料金に関しては、ICT 機器の常時使用することや第1棟、第2棟両方の教室を往来し、電気の消し忘れ等が考えられる。また、夏場、冬場のエアコンの使用に関しても注意をしていかなければならない。さらに、これからストーブ使用のピークを迎えるので、ストーブ規定に則った使用や節や清掃活動時等での水利用に関して節水を意識した生活をより一層継続して取り組んで行かなければならない。

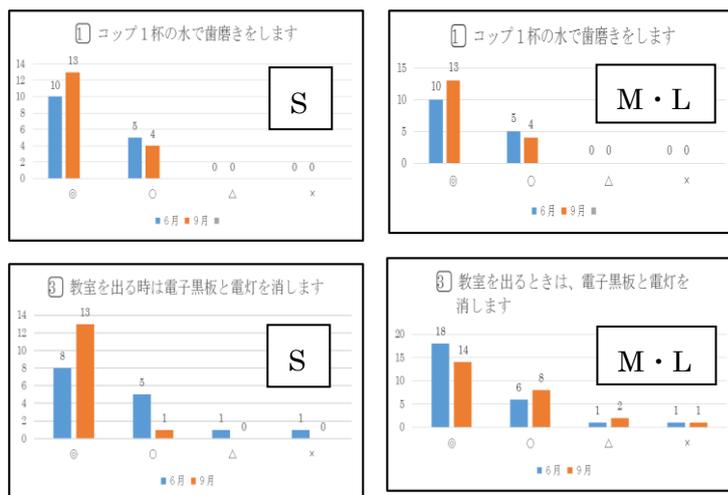
○土着有用微生物を活用した環境浄化活動

清掃活動において、環境保全の一環として、ECO 発酵液を排水溝に散布したが、実際にどれくらいの効果があったかは実証されていない。また一昨年度までは、この ECO 発酵液をプール清掃活動にも使用していた経緯がある。ECO 発酵液の成分を細かく調べ、実際の効果を科学的に実証して、環境浄化活動がより有意義なものにしていく必要がある。

2 成果と課題

(1) 成果及び課題

「学校版環境 ISO」の行動宣言に対しての意識調査を生徒主体で6月、9月に実施した。東学園全体での取組およびSブロック、M・Lブロックごとに重点項目を設定しての取組の意識調査を行った。東学園全体での宣言項目である「1」コップ1杯の水で歯磨きをします」に関しては、全ブロックで成果が見られた。しかしながら、節水に関しては、節水への意識と実際の使用量との間に差があるため、今後の改善が必要である。



東学園全体での宣言項目である「2」石けんで手を洗うときは水を止めます」、「3」教室を出るときは、電子黒板と電灯を消します」の項目においては、各ブロックで意識の差が見られた。「3」教室を出るときは、電子黒板と電灯を消します」に関しては、M・Lブロックの児童生徒が教科担任制を取っており特にLブロックの生徒は、1棟及び2棟の移動が激しく、電子黒板や電灯の消し忘れがあったようである。

旧高森東中学校の環境教育の取組はすでに16年以上の長きにわたっている。例えば、給食の調理くずを土着有用菌を利用して堆肥化する活動（ECO 当番）を昼休みの活動として本年度からは、M/Lブロックの児童生徒で行うこととした。児童生徒の意識の中には、この活動が本校にとって必要な活動と認識され日常化している。また、児童生徒にとって環境について考えること、行動することは教科や総合的な学習の時間だけでなく、自分達の学校生活そのものになっている。こうした学校全体の取組の中で児童生徒は自分の役割に対する責任感や協力することの良さを感じることができている。さらに本年度は、4年ぶりに「エコぼかし作り」を行い、量に限りがあったぼかしを増やすこともできた。

今後も一層、様々な機会を捉えて地域の方々とも関わっていくことで、本校の環境教育活動の取組について情報提供していくことができるものと考えている。